

オーリングテスト反応の意味とスタンダード医学検査の比較

Significance of Bi-Digital O-Ring Test and Comparison with the Standard Laboratory Test

○下津浦 康裕^{1),2)}

1) 日本バイ・デジタルオーリングテスト協会副会長, 2) 下津浦内科医院院長

By evaluating the abnormalities found by Bi-Digital O-Ring Test (Omura Y. 1977-2010;BDORT) with another Medical doctor in other affiliation, double blind check between BDORT and Standard Laboratory Test are performed. The people with no abnormalities by checking BDORT tend to be very low percentage of abnormalities in medical checkup. BDORT checks abnormality very early, it takes 5 ~ 10 years until cancer diagnosis after the prediction of the cancer by BDORT. If there are no abnormalities by regularly BDORT check, low probability of disease incidence is predicted.

【目的】

著者らは、Bi-Digital O-Ring Test (Omura Y. 1977-2010;以下 BDORT) による異常部診断法、体のどこかに異常な場所があると筋力が低下するという現象を応用して、診断に取り組んでいる。患者さんにとっては、自分たちの体にいいもの、身を守るためのオーリングテストを運用している。また、BDORT の異常反応を別の施設のスタンダード医学検査による健康診断 (人間ドック) により、評価する事で BDORT 検査とスタンダード医学検査結果の比較対象を行った。

【対象及び方法】

2003 年～2004 年まで BDORT で成人病検査を行った 168 例中、人間ドックの結果を入手できた 57 例 (男性: 22 例, 女性: 35 例) を対象に解析した。平均年齢: 56.8±22.2 歳 (男性: 59.0±22.2 歳, 女性: 55.4±21.8 歳)

1. BDORT の評価

ラインレーザーを用いて、X 軸、Y 軸方向に -4 となる場所を特定し、異常な臓器と判断し、BDORT 異常臓器とした。

2. スタンダード医学検査による健康診断 (人間ドック) の検査項目

全身臓器として以下の項目が検査された。

- 1) 肺: 胸写 2) 心臓: 胸写、EKG、血圧 3) 肝臓: エコー、肝機能 (血液検査) 4) 胆嚢: エコー 5) 胃: MDL、HP 6) 膵臓: エコー、HbA1c(%)、膵機能 (血液検査) 7) 大腸: 便潜血 8) 婦人科: エコー、内診所見 9) 前立腺: エコー、PSA

スタンダード医学検査による所見は

- A) 心臓 — 高血圧 or E.K.G. B) 肺 — 胸写異常 C) 肝 — 肝エコー or 血液生

化学異常 D) 胆 - 胆エコー E) 膵 - 膵エコー or HbA1C F) 胃 - 胃透視異常
or ピロリ検査 G) 大腸 - 便潜血 H) 婦人科 - 婦エコー or 内診所見 I) 前立腺 -
前立腺エコー or PSA

異常の検査のうち、どちらか一つで異常であれば、スタンダード医学検査による各種臓器異常とした。

【結果】

BDORT による異常出現率の高いものは、大腸(82%)、前立腺(70%)、心臓(65%)だった。スタンダード医学検査による健康診断（人間ドック）による異常出現率は肝臓(61%)、胃(55%)、心臓(45%)に高かった。

【結論】

BDORT で異常なしとした中で、人間ドックで異常が発見される割合が極めて低い傾向にあった。また、BDORT で異常を早期に発見するので、著者がガンの自然史で発病予測をするように、ガンが発見されるまで5～10年かかる。定期的にBDORTで検査して異常なしとなるようにしていれば、病気に罹患する確率が低いといえる。BDORT の診断・治療及び有効薬剤の決定方法等についても解説する。